

賀正 **会報 いずみ** No. 140

発行/公益社団法人 昭島市シルバー人材センター

編集/広報委員会



学校管理班



放課後子ども教室班



道路除草班

働く喜びのネットワーク



自転車管理班



植木班



映像制作グループ



パソコン講師会



家事援助班 2G



広報配布班

〒196-0022 東京都昭島市中神町2丁目32番18号
 電話 042-544-7060 FAX 042-543-9272
 メールアドレス: akishima@akishima-sc.or.jp

会員数	男性	女性	合計
(平成24年12月25日現在)	842人	267人	1,109人
ホームページ: http://www.akishima-sc.or.jp			



新年を迎えて

会長 黒岩 茂

あけましておめでとうございます。

会員の皆さま方には、ご家族皆さまと健やかな新年をお迎えのごこと、心からお慶び申し上げます。日頃は、シルバー人材センター事業に対しまして温かいご理解、ご支援、ご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

当センターの公益社団法人として新制度のもとでの新就業基準に対する取り組みにつきましては、皆さま方のご理解、ご協力により、順調に経過しております。改めて感謝申し上げます。

相変わらずの世相の混乱に伴いセンターも例外ではなく契約金額の減少や補助金の削減、法令による就業基準の強化と、今後さらに厳しくなることを覚悟しなくてはならない状況にあります。不況下の現状では就業開拓もままならず、また民間との競業も禁止されており、本年も多難な厳しい年となることが予想されます。その他問題は山積しておりますが、ボランティア活動も含めシルバーパワーを大いに発揮し、市民のご支援、ご協力をお願いし、信頼され期待される、シルバー人材センターを目指してまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって希望に満ちた多幸の年でありますよう、そして益々お元気にてのご活躍を心からご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。

新年のご挨拶

名誉会長 昭島市長 北川 穰一



新年明けましておめでとうございます。

平素、昭島市シルバー人材センター会員、事務局の皆様方には、市政運営に特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、国内においては東日本大震災、国際的には欧州債務危機や円高の影響などが引き続き、市民生活が大きく揺れ動きました。一方、ロンドンで開催されましたオリンピックでは、多くの日本人選手が活躍し、日本中が大いに盛り上がり、同時に、私たちに深い感動と勇気を与えてくれました。

さて、昨年の厚生労働省の発表によりますと、日本は女性が世界第2位、男性が世界第8位の長寿国になっております。震災などの影響により、例年より順位は下がっていますが、この長寿の主役である皆様か、

今ある仕事を大切に



副会長（総務部会長） 伊藤 周治

シルバーの情勢は昨年にして厳しい年と思われまます。そこで私たち会員が立つ位置を明確にすることが大事であります。

適正就業を遵守すること、会員増強（特に女性会員）を図り、そして社会奉仕活動の更なる活性化と拡大を図る必要があります。今ある仕事を大事に丁寧に行うことこそがもつとも大切と考えますので、どうぞよろしくお願い致します。

感謝の気持ちで就業を



常務理事 田中 幹雄

「公益社団法人」となつて3年目を迎えました。当面、今ある就業をなくさない心構えが必要です。また、就業は「させていただけます」との感謝の気持ちで接して頂きたいと思ひます。適正就業絡みで就業拡大が厳しいおり、皆で力を合せてこの難局を乗り越えたいと思ひますので、会員皆さまのご理解とご協力を切にお願い致します。

就業機会の拡大に努力



事業部会長 奥山 毅

いろいろな経済的に悪い要素が絡まって、いまだに景気低迷から抜け出せないでいる経済状況

長い人生の中で習得されてきた豊富な経験や知識を社会に還元していただくことは、地域社会を存続していく上でとても大切なことでもあります。これからの まちづくりには、高齢者の皆様が心身ともに健康で、積極的に社会参画をしていただくという視点が、ますます重要なものになってきております。

市といたしましても、将来都市像である「ともにつくる 未来につなぐ 元気都市 あきしま」人も元気 まちも元気 緑も元気」を実現すべく、今年も「元気」をキーワードにまちづくりを積極的に推進してまいります。

皆様方におかれましては「自主・自立」「共働・共助」のシルバー人材センター事業の理念のもとに、今年も事業発展にご尽力をいただく中で、昭島のまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、昭島市シルバー人材センターの益々のご発展と、会長さんをはじめ会員の皆様、ご家族の皆様のご健康、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭にあたり

昭島市議会議長

西野 文昭

新年あけましておめでとございます。昭島市シルバー人材センター会員の皆さまには、お健やかに正月をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。皆さま方におかれましては、平素から市議会活動にご理解・ご協力を賜わり心より御礼申し上げます。

昭和50年に都内で二番目に設立されたという歴史のある昭島市シルバー人材センターは、市民から高い信頼を受ける中で、千人余りの会員を要する組織として順調な発展を遂げてまいりました。これもひとえに、歴代の会長さんをはじめ役員の方々の皆さまの賜と、深く敬意を表します。

さて、国民の4人に1人が65歳以上という本格的な高齢社会を迎えた今日、高齢者が長年培ってきた知識・経験を活用し、その能力を活かしていただく時代がやって来たといっても過言ではありません。こうした社会状況の中で、昭島市シルバー人材センターは、長年にわたり高齢者の方が生きがいを持って働く場を提供し、その実りが地域活性化であり、「元気都市あきしま」づくりの源ともなっております。昭島市シルバー人材センターの役割・活動は、今後ますます増大するものと考えます。市議会といたしまして、高齢者の働く機会の確保と福祉の増進のため、今後とも一層の努力をいたす所存でございます。

昭島市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆さまのご健康を心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

の中、各種発注団体も厳しい環境に置かれていますが、会員の就業機会の拡大に向けて、就業開拓に努力してまいります。

センターから紹介のあった仕事に対しては、積極的にチャレンジしていただいで活動的な一年にしましょう。

センターの情報を提供



広報委員長 清水 武

時代はシルバー人材センターを求めています。高齢者を「福祉の受け手から社会の担い手に」。社会保障費の大幅な削減のみならず、仕事やボランティア活動による社会貢献と各会員には生きがいを生み出しています。そんな地域の最前線で頑張っている会員の模様やセンターからの情報を今年も「いずみ」で提供していきます。

今年も健康と安全で



安全管理委員長 清水 辰男

昨年は「安全」に対するご配慮・ご協力をいただき、ありがとうございました。

公益社団法人3年目を迎え、市場環境は流動的で会員の皆様には新たな対応もしていただきありがとうございます。

今年も「健康と安全第一」を目指し、一丸となって進めていきたいと思っております。

産業まつりに参加して

昨年11月10、11日の2日間、市民会館・公民館の前庭と駐車場で恒例の昭島市産業まつりが開催され、当センターも参加しました。

初日は秋晴れで45,000人、2日目は30,000人の集客がありました。また、今年からご当地グルメのフード・グランプリも行われて2日間で30,000人と大変な盛り上がりがありました。

当センターは出店の場所が会館前庭のイベント会場に隣接した場所となり、例年以上の関心度を持たれたようです。広報委員会を中心に理事・監事・家事援助班・センター事務局職員による、ビデオ放映・各種チラシでのPRやマスキの配布が行われました。この結果11月の入会説明会には多数の入会希望者がありました。



チラシを配布する会員

毎年、植木班の手作りほづきを買いに来てくださる方もおり、手芸班の小物の販売も好評でした。売り上げ金のうち、植木班から10,000円、手芸班から17,000円が社会福祉協議会に寄付されました。

2センターが研修視察に

この度、当センターが先進センターとして評価されて、2つのシルバー人材センターの研修視察を受けました。

①平成24年10月11日

(公社) 狛江市シルバー人材センター

池田事務局次長

他3名

●家事援助サー

ビス班

会員コーディネ

ーターの活用につ

いて

狛江市は企業が少なく市からの発注も少ない、家事援助サービス事業

拡大に役立てていきたいとのことでした。



狛江市シルバー人材センター

②平成24年10月22日

(公社) 中野広域シルバー人材センター

長野県中野市、山之内町 春原理事長、柴草

事務局長 他18名

●重点施策、安全

就業、適正就業の

取り組み、地区班、

職群班運営強化につ

いて

当センターの状況を報告し、質問を受け応答しました。



年度会費のお知らせ

退会を希望される方は3月31日までに事務局へ退会届の提出をお願いします。4月1日になってしまいますと、その年度の年度会費等(2,800円)が発生してしまいます。よろしくお願いいたします。

吉井理事が辞任

平成23年度より理事に就任した吉井日出男氏が、一身上の都合により平成24年9月30日付けで辞任しました。

安全管理委員会より

安全管理委員長 清水辰男

交通安全講習会ののご案内

安全管理委員会では、24年度の「交通安全講習会」を開催いたします。

日時は2月4日(月曜日)午後1時30分から午後3時。場所は当センター2階研修室。

今回のテーマは「自転車の安全な乗り方」で、講師は昭島警察署交通総務係長・山村敏美氏。実際に自転車をつかう実技指導を含めた講演が60分、休憩を挟んで質疑応答が10分程度の予定です。是非ご参加ください。

自転車取扱い関連ポスター掲示

交通安全に力を注ぐ安全管理委員会では、会員に自転車の取り扱いを熟知いただくため、「自転車安全利用五則」「簡単な自転車点検法」のポスターを作成しました。

現在、センター前庭の駐輪場に面したガラス窓に掲示しています。

- ・ 自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - ・ 車道は左側を通行
 - ・ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - ・ 飲酒運転は禁止などの安全ルールを守る
 - ・ 子どもはヘルメットを着用
 - ・ 子どもの安全五則の根幹です。
 - ・ ブレーキの点検
 - ・ 車輪の点検
 - ・ ハンドル、サドルの点検
- こちらは点検法の主要項目です。

どちらも詳細は、ポスターに書き込んでありますので是非お読みください。



安全就業標語募集ー東京しごと財団

東京しごと財団では、各シルバー人材センターを通じて、平成25年度の安全就業標語を募集しています。今回のテーマは「不注意による事故防止について」。

ひとり3作品までを、今回の会報「いずみ」と同時配布した応募用紙に書いて、FAX、郵送、持参等でご応募ください。

お問い合わせは、事務局川上主任まで。

冬です 足元にご注意を！

安全な仕事のため、冬場は足元に注意しましょう。なかでも滑落転倒には最大の注意が必要です。

屋外の仕事が多いセンターの仕事は、足元が凍結している場合が少なくありません。室内の仕事でも、就業への往復などで、道路が凍っていれば、自転車の転倒、徒歩での転倒の危険があります。

冬場の自転車では、路面凍結があるなら、下車して押し歩く用心深さが重要です。そして肝心なのが靴で、徒歩の場合もそうですが、靴底に深い溝があるスニーカーやトレッキングシューズなどを選びましょう。



◇ニュース／新職群班◇

保育園幼稚園正門見守り班発足

11月13日、家事援助班3グループの一員として、活動を続けていた保育園幼稚園立ち番のメンバーが、新しい職群班を立ち上げ、12月1日より正式にスタートさせました。

現在、8保育園、1幼稚園での朝夕の正門見守りには、20名が就業しています。これを、東部、中部、西部の3グループ編成とし、各グループのリーダーを選任しました。さらにグループリーダーの互選により、三浦時文会員を初代班長に決定しました。既に、急病急用等のやむを得ず仕事を休まなければならぬ会員への、フォロー体制を制度化するなど、活動を始めています。

職場探訪〜英会話教室講師

「ハウアーユー」で始まる
楽しい120分のトータル

● 出番は3カ月に6回

「グッドモーニング!」「ハウアーユー!」

火曜日の午前中、市の集会施設のひとつ昭和町分室にシルバー世代が三々五々やってきては、こんな挨拶を交わしていました。な、なんなんですかね、これは?

昭島市では平成18年度より「イキイキ・ニコニコ介護予防教室」という、高齢者向けの教室を開講。65歳以上を対象に、市の施設を利用するもので、現在は14種の講座が用意されています。このうち当センターが行なっている講座が、着付け教室やデジカメ教室など7講座あり、英会話教室もそのひとつなんです。現在は武蔵



3カ月に1回アメリカ人講師も

市内つつじが丘に在住のアメリカ人、ステイブ・ヘッドさんと、会話について談笑する古館会員。教室のレベルアップには欠かせないひとときでもある



イキイキ介護予防教室は、太極拳などのスポーツ系、書道や脳トレなどのデスク系など17講座が用意されています。

英会話も含めて、3月上旬に4~6月の受講生募集が行われます。問い合わせは、

昭島市高齢サービス係
042-544-5111へ!

野会館を使用し、15名の受講生を4名の当センター所属講師が教えているのです。

実はこの記事の取材は、昭和町分室の使用だった昨年10~12月期に行ったもの。当日は在昭島のステイブ・ヘッドさんというアメリカ人をお願いして臨時講師を担当していただきました。通常は4名の講師が2名ずつ交替で担当し、3カ月間週1回のペースで計12回開講する方式。ひとりの講師の出番は、3カ月で6回という計算になります。ちなみに、使用施設は3カ月毎に移り代わっていくそうです。

● 同世代の英会話、楽しいよお!

以前からシルバー人材センターでは、会員を講師とした「英会話塾」の構想がありました。そんなとき、中心となった清水武会員のもとに市の「イキイキ・ニコニコ介護予防教室」の一環で行つてはどうかという話が持ち込まれたとか。

「塾の開講が難航していたので、渡りに船という感じでやることにしたんですよ」と清水会員。新聞社の海外特派員の後、定年後に海外留学も経験、キャリアを活かしたこの活動に全力投球中のようなです。塾の準備期間中に、講師希望者が8名集まったが、その内4名がこの講座担当を引き受けることになってスタート。ただし、塾は子供に教えるという構想だったが、受講生がシルバーとなってしまった。

「いやあ、同世代相手ですからね。逆に楽しいですよ」

と笑い飛ばすのは古館靖史会員。海外を飛び回ったビジネス・キャリアの主で、現在、別の英会話教室も主宰しています。その横で同感と頷くのは平井由子会員。英語教科書などの編さんを生かしての参加。そして現役の塾講師でもある根本守弘会員が現在の講師陣です。

「イキイキ・ニコニコ介護予防教室」の開講は4~6月、10~12月、1~3月の年3期で「英会話教室」は毎週火曜日の9時30分~11時30分。受講を希望する65歳以上の方は、シルバー人材センターのイキイキ・ニコニコ教室係(042-544-7060)で期間内に受け付けています。

受講料1,000円、別途教科書代1,000円が必要です。(広報委員 岡裕美)

★掲出板★

家事援助班

●調理講習会について

新会員や日頃調理に携わっている会員を対象として、今回も2月に講習会を行います。



会員のキャリア・アップのために年2回行い、これが活用されて利用者の方々に喜ばれております。また、会員どうしいろいろな知識・経験を教え合い、親睦をはかる機会にもなっています。美味しいものを作って元氣になりますよ。



がんばれ！ シルバー



●お仕事お待ちしています！

現在、シルバーで行っている大工・塗装の技能作業に加え、電気工事、建具工事を始めました。



コンセントの増設、LED電球への切り替え、電気スイッチの修理、テレビアンテナ工事、玄関インターフォンの設置、建具(「戸」「扉」「ドア」「窓」等)の調整・作成、手すりの取り付け等のご依頼があれば、ぜひ事務局担当の村井主事までご連絡下さい。

ちよらといひ話

スリッパありがとう

今年もまた、センターの玄関に新しいスリッパが並びました。昨年行われた「シルバーふれあい祭り」に出店した喫茶コーナーと手芸班のご好意により寄贈されたものです。毎年ありがとう。大切に使いましょう。



シルバーっ娘

編集後記

職群班の代表の皆さんに表紙を飾っていただきました。笑顔の中に力が伝わってきますね。

シルバーは地域を担う力！今年も年男。頑張るぞ！ 清水 武

今年は何んな出会いがあるかが躍ります。一期一会のご縁を大切にしたい。永井美恵子

勝海舟が言った「行蔵(こうぞう)は我に存す」に、なかなか耐えずにきていますが、今年こそ自分を大切に、思い切り良くいきたいと思っています。折居 弘昭

孫もいよいよ小学生。迷いもなく希望に溢れています。私も一度決めた事は雑念を持たず、ぶれない年にしようと思っています。松岡 秀夫

某保育園の卒園文集に私が寄せたコトバ「転んだらすぐに起きて笑顔になろう！」です。これ、そのままシルバーの皆様にも贈らせて頂きます！ 岡 裕美

師走の騒々しいダブル選挙も終わり、新政権には「景気回復・シルバー世代にも安心安全を」と願うばかりである。 光富 宏規

昭島から見る富士山は雄大で美しく心が洗われるようです。新年を迎え初心を忘れずに今年も笑顔で過ごしたいと思います。 平井 由子

「相談の日」
毎月第1火曜日
◇9:30~11:30
センター事務所 2階
※担当理事が相談をお受けします



保育園幼稚園正門見守り班



自転車管理班

自転車管理班



青バト広報班

学校管理班



仕事とボランティアで躍動する会員



公園除草班



道路除草班



家事援助班 4G



家事援助班 1G



家事援助班 3G



理事・監事の皆さん

安全就業標語

今日も又 一声かけて 安全確認